

令和3（2021）年度 事業報告書

社会福祉法人 甲賀学園

総括

令和3年度は、主に施設整備と事業の安定運営を重要課題として位置付けた“優先整備事項”と新型コロナウイルス感染症対策に絞った“特別対応事項”という二つのテーマを新たに設け、事業運営を行った。

優先整備事項においては、分園型小規模グループケアホームの新規開設に向けて準備を進めていたが、諸事情により計画を一時中止し次年度計画へと延期した。

次に、特別対応事項については、施設内でコロナ感染が発生することを想定した上でマニュアルを改訂すると共に、実際にコロナ感染を経験した施設から講師を招き、日常の備えや感染時の対応について学んだ。また、感染症防止対策の一環として備品購入や設備投資を行った。コロナ感染者が発生した際には、こうした事前の準備が功を奏し、関係諸機関と連携を取りながら比較的冷静な対応ができた。加えて、集団感染が発生した場合のリスクについて、実感として理解できた。

以下、事業計画の項目に基づき詳述していく。

1. 2021年度優先整備事項について

1. 地域化・小規模化に向けて

2021年度中に開設を目指していたが、当初計画していた場所については、法規制等の縛りが強く当年度中の開設が難しいということが判明したため、別に候補地を定め準備を進めていった。しかし、開設について地元住民の十分な理解が得られないと判断し、当該地区での開設計画を中止した。その後、行政機関等と協議を重ね、2021年度当初から計画していた場所で開設の道筋をつけることができた。

2. 高機能化・多機能化にむけて

コロナの影響を大きく受けたものの、甲賀市と連携し家庭支援サービスの提供を行った。また、本館の大規模改修や事業展開を見据えて、地域の福祉ニーズについて甲賀市と意見交換を実施。さらに、担当職員により、地域福祉サービス事業所や団体等へヒアリングを開始した。

3. 事業の安定運営に向けて

2021年度の新規採用は3名。全て当施設のホームページに応募してきた者である。これとは別に、将来の事業拡大（分園型小規模グループケアホームの開設および本園4ホームの小規模ユニット化）に向けて、人材確保対策を強化するためにWEBによる人材紹介システムに登録したものの全く成果が得られなかった。

4. 施設の理解者の拡大に向けて 後援会活動の充実、施設による広報活動の強化

コロナの感染状況を見極めながらではあったが、後援会活動や見学研修の受入等により、施設の取り組みについて理解を広げる活動を継続した。また、WEBを積極的に活用し、他団体と入所児童が交流する場を設けた。

2. 2021年度特別対応事項（新型コロナウイルス感染症対策関連）

1. 予防対策の徹底（日常レベル・環境整備・設備投資含む）

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づく国庫補助金を利用し、食毒液やマスク等の購入及び備蓄、また、パーティションの設置や宿直者一人一人に対し寝具を購入する等を行った。

2. メンタルヘルス対策（児童および職員）

これまでは、社会全体や市町の感染状況に合わせて施設内の行動レベルを厳格に定めていたが、年度の後半からは、入所児童や職員のメンタルヘルス対策も考慮に入れ、杓子定規に行動規制することをやめ、柔軟に運用することとした。また、その結果、感染状況が一定落ち着いていた時期には、外部との対面による交流も実施することができた。

3. 感染発生時の迅速対応（マニュアルの見直し等含む）

6月に感染者1名発生したが、事前に定めたマニュアルに従いながら対応ができたことや、外部講師を招いて事前に研修会を実施したこと、保健所等の関係諸機関との連携が取れたこと等により、混乱が拡大するような事態には至らず、影響を最小限度に収めることができた。年度後半の大規模流行期においては、入所児童が感染する事態にはならなかったが、職員の家族や職員本人の感染事例が相次ぎ、施設運営に支障を来すギリギリのところでは何とか耐えたという状況であった。

4. 施設運営の見直しと変革（with コロナ after コロナを意識した）

鹿深まつりに代表されるような施設主体の大規模イベントについては本年度も中止し、代わりにマスクケースを子どもと共に作り、関係諸機関や支援者等に配布した。これらは広報誌を通じ、相互交流ができるよう工夫した。

【重点目標3項目に関して】

1. 地域に愛される施設を目指して

鹿深まつりに代わる地域交流および施設の活動情報の発信としてマスクケースを作り、支援者等に送り届ける活動を行った。また、これらには手書きのメッセージカードを添えたことにより、双方向のやり取りができるよう工夫した。その他、甲賀学園後援会と連携しながら環境整備活動の実施、甲賀市の福祉関係部局と連携し一時預かりを実施、里親家庭の児童の一時預かりを実施。

2. 住む人と働く人が誇りを持てる施設を目指して

コロナ禍により、外部とのつながりが大きく制限される中で、入所児童と職員のメンタルヘルス対策が重要課題であった。そこで、感染が一定落ち着いている時期に、積極的に外部交流を実施すると共に、WEBを利用し今まで交流のなかった団体等と交流を行うことができた。さらに、外部講師を招へいし、児童と職員が共にメンタルヘルス対策のセミナーを受講する等、今までには無かった取り組みを行った。

3. 多種多様な専門家が協働する施設を目指して

研修の機会や県内施設の職員間交流の機会が著しく減ったが、Zoom等を活用し新たな形で施設間・多機関・多職種協働が行えるよう少しずつ仕組みを整えていった。また、感染防止対策を施した上で外部から専門家を招聘し、SV等の機会を保障した。

1. 監事関監査、評議員会・理事会の開催および役員等の業務執行状況

(1) 監事監査の結果

項目	内容
実施日時	令和3年5月18日(火) 午前10時から12時
実施場所	鹿深の家
立会人等	(理事長) 河合定郎、(施設長) 春田真樹 (監事) 森地万里子、平井 博 新経営サービス清水税理士法人
結果	(1) 事業報告等の監査結果 ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。 (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(2) 評議員会の開催

開催数 開催年月日	評議員会ごとの出席者氏名			欠席者氏名	議 題
	評議員数 /定数 氏名	理事	監事		
定時評議員会 6/18	施設内において新型コロナウイルス感染発生のため中止、延期				
定時評議員会 7/2	7/7 望月文衛 金田真宏 藤村淳子 植村恵子 倉橋恵子 黒川昌明	河合定郎 谷口忠一 増山好子 井ノ口博己 杉森 正 春田真樹	森地万里子	安井一夫 平井 博	① 令和2年度事業報告の件 ② 令和2年度決算の件 ③ 社会福祉充実計画の承認の件 ④ 理事および監事選任について ⑤ 令和2年度社会福祉法人等指導監査の結果について

第2回 12/9	7/7 金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田雄 清水清博	河合定郎 井ノ口博己 青木小司 上里弥生 春田眞樹	森地万里子 平井 博	無	① 令和3年度一次補正予算の件
第3回 3/23	7/7 金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田雄 清水清博	河合定郎 井ノ口博己 青木小司 上里弥生 春田眞樹	森地万里子 平井 博	無	① 令和3年度二次補正予算の件 ② 令和4年度事業計画案の件 ③ 令和4年度当初予算の件

(3) 理事会の開催

開催数 開催年月日	出席者数/定数	欠席者 氏 名	出席監事 氏 名	議 題
	出席者名			
第1回 6/2	6/6 河合定郎 谷口忠一 増山好子 杉森 正 井ノ口博己 春田眞樹	無	森地万里子 平井 博	① 令和2年度事業報告の件 ② 令和2年度決算の件 ③ 社会福祉充実計画承認の件 ④ 定時評議員会開催の件 ⑤ 理事及び監事推薦の件 ⑥ 評議員の候補者の件 ⑦ 評議員選任・解任委員の任命の件 ⑧ 第2回理事会招集の省略の件 ⑨ 令和2年度社会福祉法人等指導監査の結果の件
第2回 6/18	施設内において新型コロナウイルス感染発生のため中止、延期			
第2回	6/6	無		① 理事長の選定について

7/2	河合定郎 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹		森地万里子 平井 博	② 施設長の選任について ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止活動による特別手当について
第3回 (書面) 9/24	6/6	無	森地万里子 平井 博	① 特別自立支援金制度の件 ② 経理規程改定の件 ③ 就業規則改定の件 ④ 慶弔規程改定の件 ⑤ 分園型小規模施設の設置の件 ⑥ 第2回評議員会開催の件
	河合定郎 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹			
第4回 12/9	5/6	杉森 正	森地万里子 平井 博	① 令和3年度第一次補正予算の件 ② 就業規則改定の件 ③ 特別自立支援金制度申請の件 ④ 児童の預り金紛失の補てんの件
	河合定郎 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹			
第5回 3/2	6/6	無	森地万里子 平井 博	① 令和3年度第二 ② 次補正予算の件 ③ 令和4年度事業計画案の件 ④ 令和4年度当初予算の件 ⑤ 賃金規程改定の件 ⑥ みどりさん奨学金支援制度の件 ⑦ 第3回評議員会の開催の件
	河合定郎 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹			

(3) 施設外研修・施設内研修に対する役員の参加状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、集合型研修への参加は中止した。また、施設内における研修については、地域の感染状況を見ながら、感染予防対策を実施した上で開催した。

施設外研修

日付	研修会名	主催/大会テーマ	参加者
新型コロナウイルス感染症拡大のため、集合型外部研修は全て中止となった。 そのため不参加。			

施設内研修

日付	講師/概要	参加者
6/4	特別養護老人ホームレーベンはとがひら施設長 生田 雄 氏 『新型コロナウイルス感染症 県内初の介護施設クラスターを経験して』	理事長
11/3	株式会社佳論 代表取締役 辰巳明宏 氏 『モチベーションアップセミナー』	理事長
1/7	ネイルケアサロンRe-na-il 本田レイナ 氏 『子どもの爪のケアと正しい靴選び』	理事長

(4) 職員会議に対する役員の参加状況

※社会全体や市町の感染状況に応じて役員が参加。

職員会議実施日時	参加者名（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、年間の出席者は設定せず）	
4/9	理事長	
5/7	理事長	
6/4	理事長	
7/2		
9/3		
10/1		
11/5		
12/3		
1/7	理事長	
2/4	理事長	
3/4		

2. 理事会および評議員会、監事の体制

理事定数6 任期 2021年6月～2023年6月（2年間）

評議員定数7 任期 2021年6月～2025年6月（4年間）

監事定数2 任期 2021年6月～2023年6月（2年間）

理事会	理事長 河合定郎 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹
評議員会	金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田雄 清水清博
監事	森地万里子 平井 博

3. 鹿深の家の10年計画

2022年度からの本館大規模改修に向けて、行政側と協議開始（主にスケジュールの確認）。事業については、特に、地域支援や里親支援等に力を入れ、体制基盤づくりを強化した。

4. その他（後援会への協力体制）

主な活動内容

事業内容	詳細
広報活動	<p>① 定期刊行物として鹿深の家だよりを発行 第106号 令和3年9月 第107号 令和3年11月 第108号 令和4年3月</p> <ul style="list-style-type: none">・後援会会報発行 令和3年11月1日 発行方法…ホームページ及び郵送、甲賀町回覧 <p>② ホームページの運用 法令で定められた内容について公開 役員名簿、諸規程（定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程）、事業計画および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者評価、その他、法人の活動や施設の紹介等</p>
地域交流	<p>鹿深まつり集客型の開催断念（コロナ禍のため） コロナ禍のため例年とおりの鹿深まつりは今年度も実施できなかった。 しかし、いつもご支援、応援してくださっている皆様に今できることは何かと検討し、少しでも元気を届けるために「マスクケース」を作成し、地域の皆様、関係者の皆様に配布した。 配布の際に返信用のはがきを同封してメッセージを頂き、反響が大きく、次号の鹿深の家だよりに皆様のお言葉を掲載した。</p>
後援会組織	<p>活動に当たっては、卒園する子どもの現状を踏まえ、後援会として応援しているというメッセージを伝えるため、自立支援に重点をおいた活動を行う。 また役員は当施設の理解を深めてもらうため、通学路の清掃ボランティア、ゆずジャム作りなどをして子どもたちの応援をしている。 将来の建物の大規模改修に向けて、どのような形で支援の輪を広げていくのかということについて検討していくと共に、施設の現状を地域の方に知ってもらえる手立てを今後も検討していく。 ＊今年度もコロナ禍のため、他施設の施設見学は計画していましたが、実施できませんでした。</p>